

# 上田西の新時代も始動



第56号  
発行  
2019年  
7月12日(金)  
上田西高校  
新聞委員会  
編集局

編集局長 下谷梓  
撮影:羽毛田莉歩

## 書道部

### 令和を記念して凧揚げ



大凧を上げる硬式野球部の選手たち 写真提供=入試広報係



書道部員によって作成された「令和」の大凧

元号が令和に変わった5月1日(水)上田西高校の野球グラウンドでは書道部員によって作成された大きな「令和」の文字と典拠となった万葉集の序文が書かれた縦5メートル50センチ、横

## 「令和」大凧無事揚がる

約70名の生徒集まる

4メートル50センチの15畳の大凧揚げが行われた。大凧に「和」と「風」の文字を書いた書道部員の3年7組和田ほのかさん(進学3年II棉花)は「緊張したけれど、先生に助けをもらいながら綺麗に書けたのでよかったです」と感想を話した。書道部顧問の白井道彦教諭は「生徒は初めて書いたんだけどよく筆を使いこなして頑張っていたと思う。あとは全員それぞれ場所を受け持つて書いて協力して書いてよかった」と感想を語った。当日グラウンドには書道部の部員や



大凧に「令和」の文字を書き入れる書道部の和田さん(左)と顧問の白井教諭

硬式野球部、男子バレーボール部、吹奏楽部、など約70人の生徒が集まり吹奏楽部の演奏に合わせ盛大に凧揚げが行われた。令和初日はあいにくの雨模様となってしまったが、風を受け見事大空に舞い上がった大凧を見てグラウンドには生徒や多くの人の歓声が響き渡った。白井教諭は当日の凧揚げについて「たくさん生徒の協力を得て

上げることができた。1分に満たない時間だけでも空に上がって、協力を得てありがたかったことと生徒が頑張った物が揚がってよかった」と凧揚げがった喜びを話した。令和をどんな時代にしたいかという思いは人それぞれだ。新時代に向けて和田さんは「まずは進路実現のために頑張る。将来は患者さんの心と体を癒すことのできる看護師になりたいです」と令和への意気込みを語り、白井教諭は「今回の凧揚げを通じて1つのことをみんなで協力してつくることへの感動を感じながらそれぞれの人が幸せな時代になってもらいたい」と令和への願いを話した。(羽毛田莉歩)

## 吹奏楽部

### 第1回定期演奏会



学校の歴史に名を刻む、吹奏楽部の第1回定期演奏会の様子

上田西高校吹奏楽部 顧問:萩原敬士 石川武美 中嶋宏明 宮本孝子 部員数27名 2017年より強化指定部となりマーチングを開始。2018年吹奏楽東海大会出場、マーチングバンド関東大会出場。

新元号令和が施行され2カ月が経過した。上田西高校では新元号施行にあわせ、大凧揚げが5月1日(水)に行われた。また、吹奏楽部は5月3日(金)に、第1回定期演奏会を行った。定期演奏会は本校で初の開催であり、吹奏楽部は学校の新たな歴史を作った。

## 東御市サンテラスホールで開催

### 来年は上田サントミュージゼで



定期演奏会でマーチングを披露する吹奏楽部。この日は、趣向を凝らした三部構成で観客を沸かせた。

演奏会は三部構成で、一部は吹奏楽のオリジナル曲を中心に三曲を演奏し、二部はステージ上でのマーチング。そして、三部は観客も聞いてわかるような曲やちょっとした演出を入れて楽しめるようなプログラムで進んだ。上田西高校吹奏楽部は活動を活発にするために、顧問の萩原敬士教諭が赴任した次の年(2017年)からマーチングを始め、マーチングの魅力についてマーチングリーダーの滝澤梨心さん(進学3年II東御市)は「吹奏楽部の座って吹くスタイルではなく、みんな動いて形を作って演奏、演技をするところです」と話してくれた。記念すべき1回目の定期演奏会については、「初めてでわからない

演奏会には三部構成で、一部は吹奏楽のオリジナル曲を中心に三曲を演奏し、二部はステージ上でのマーチング。そして、三部は観客も聞いてわかるような曲やちょっとした演出を入れて楽しめるようなプログラムで進んだ。上田西高校吹奏楽部は活動を活発にするために、顧問の萩原敬士教諭が赴任した次の年(2017年)からマーチングを始め、マーチングの魅力についてマーチングリーダーの滝澤梨心さん(進学3年II東御市)は「吹奏楽部の座って吹くスタイルではなく、みんな動いて形を作って演奏、演技をするところです」と話してくれた。記念すべき1回目の定期演奏会については、「初めてでわからない

今後の定期演奏会について萩原教諭は「学校内だけでなく地域の普段のお世話になっている方への感謝を込めてずっと続けていきたいなど。そして西高といえば5月3日に演奏会があるというようなゴールデンウィークの定番みたいな感じになればと思っています」と今後の展望を話してくれた。来年の5月3日にはサントミュージゼでの第2回の定期演奏会が予定されている。(松木萌愛)

5月3日(金)に上田西高校吹奏楽部の記念すべき第1回目の定期演奏会が行われた。東御市のサンテラスホールを会場とし、多くの観客を前にステージを盛り上げた。演奏会は三部構成で、一部は吹奏楽のオリジナル曲を中心に三曲を演奏し、二部はステージ上でのマーチング。そして、三部は観客も聞いてわかるような曲やちょっとした演出を入れて楽しめるようなプログラムで進んだ。上田西高校吹奏楽部は活動を活発にするために、顧問の萩原敬士教諭が赴任した次の年(2017年)からマーチングを始め、マーチングの魅力についてマーチングリーダーの滝澤梨心さん(進学3年II東御市)は「吹奏楽部の座って吹くスタイルではなく、みんな動いて形を作って演奏、演技をするところです」と話してくれた。記念すべき1回目の定期演奏会については、「初めてでわからない

り個性豊かで楽しい演奏会だったと感じた。編集局は、定期演奏会に来ていた方に感想を聞いてみた。小諸市から来たという女子高校生は「迫力があって個性があって元気よく演奏していてすごかった」戸倉の女性は「一人一人の音がよく出ているし、全体の音がまとまっていた。聞いていて気持ちよかった」と上田市の女性は「演奏している子たちもノリノリで見ているほうも楽しかった」と話し、楽しんでくれたようだった。

## 歴史刻む 第1回定期演奏会開催